

早稲田大学国際学術院
教員(専任教員もしくはテニュアトラック教員) 募集要項

人工知能 / Artificial Intelligence

人工知能は、知覚、学習、推論、意思決定といった能力を必要とする課題を機械が遂行できるようにするための計算論的方法の開発や、評価、応用などを対象とする研究分野である。機械学習や、データ駆動型モデリング、知的システム、アルゴリズムなどに基づく意思決定プロセスといった中核的領域に加え、これらの領域を多様な分野へ応用する研究を広く包含する。

1. 専門分野

本学部のリベラルアーツ教育においては、これらの分野に関する教育を充実させる必要がある。本募集では、人工知能およびそれと密接に関連する領域を専門とし、既存のカリキュラムを補完し、その内容を発展させることのできる人材を広く求める。

特に、人工知能や関連する研究分野において高い専門性を有し、リベラルアーツ教育課程の学部学生に対して、人工知能の基礎的概念および実践的なモデリングを教授できる人材を歓迎する。また、人工知能や関連分野において、高い研究能力を有し、活発な研究活動を展開することも期待される。

主な職務内容および担当科目について

- 1) 国際教養学部における学部教育
- 2) 研究活動への積極的な従事（個人研究、国際学術誌への論文発表、外部資金獲得のための申請、学会活動や学術的交流への貢献、学部教員との学術的協働等）
- 3) 大学および国際教養学部の規程に基づく各種業務（入学試験関連業務、各種委員会活動等）

担当科目については、原則として、

- First Year Seminar（基礎演習）
- Intermediate Seminar（中級演習）
- Advanced Seminar（上級演習）

に加えて、

2. 業務内容

- 人工知能または密接に関連する分野における、初級・中級・上級の各レベルの講義科目
- 応募者には、自身の専門分野に基づいた具体的な科目の提案を期待される。ただし、提案する科目は、国際教養学部における既存の開講科目と重複しない内容であることが必要である。科目案の作成にあたっては、事前に国際教養学部のシラバス検索システム (<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>) を参照することを勧める。また、国際教養学部はリベラルアーツ教育を基盤とする学部であることから、各レベルの講義科目は、人工知能や関連分野について十分な事前知識を有しない学生が履修する可能性があることを踏まえた内容・構成とすることが望ましい。

【注】

1. 国際教養学部は春・秋の2学期制（各14週間）を採用しており、1コマの授業時間は100分である。専任教員は、原則として1学年度あたり少なくとも9コマを担当し、通常は各学期に4~5コマを担当する。
 2. 演習科目は、講義科目を補完する少人数・ディスカッション中心の授業として体系的に配置された科目群である。「First Year Seminars（基礎演習）」は、履修者数上限20名のクラスで、多様なテーマへの導入を目的として実施される。2年次の
-

「Intermediate Seminar (中級演習)」は、基礎演習の形式をより発展的なレベルで継続し、専門的学修への橋渡しの役割を担う。上級学年では「Advanced Seminar (上級演習)」を履修することができ、これまでの学修を基盤として、個々の関心分野について、より集中的な研究志向の学修に取り組む。

また、本募集は学部教育を主たる職務とするものであるが、学内の他学部・研究科との連携を通じて、修士課程および博士課程の学生に対する授業、研究指導、または共同指導に関わる場合もある。

-
3. 応募資格
- (1) 博士の学位もしくは同等の資格を有する者。
 - (2) 英語での講義能力を有すること。
 - (3) 日本語能力を有することが望ましいが、必須ではない

-
4. 採用人数 1名

教授、准教授、または専任講師。

教授(テニュアトラック)、准教授(テニュアトラック)または講師(テニュアトラック)となることもある。

※ 採用にあたっては、応募者の学歴、教育経験、研究業績等を総合的に審査した上で、職位および任期区分を決定し、選考結果とともに通知する。

※ テニュアトラックとして採用された場合には、以下の規程が適用される。

5. 採用資格
- (1) テニュアトラックの任期は、原則として3年間とする。
 - (2) テニュアトラック教員は、嘱任後3年目に限り、テニュア付与の申請をすることができる。申請がなされた場合、人事審査委員会は、本学部の「人事審査に関する内規」に基づき、所定の審査期間における研究業績、教育上の実績、学部および大学における業務遂行状況、その他の関連事項を総合的に評価し、身分変更の可否を審査する。その審査結果を踏まえ、大学がテニュア付与の可否を決定する。テニュア付与が認められなかった場合であっても、審査結果に基づき、任期を最長2年間延長することもある。なお、申請期間や手続等の詳細については、該当する教員に対して別途通知する。
 - (3) 2013年4月1日以降に、職位や身分の如何にかかわらず、早稲田大学との雇用契約が存在した場合には、通算雇用期間や再任の可否およびその期間について、上記とは異なる取扱いとなることもある。
 - (4) テニュアトラック期間中、大学が指定するファカルティ・ディベロップメント(FD)プログラムへの参加を求めることがある。

◆ 勤務時間等 勤務日および勤務時間(始業・終業時刻ならびに休憩時間を含む)については、本学規程による。なお、研究活動については専門業務型裁量労働制が適用され、当該制度の下では、業務の遂行方法および時間配分に関する判断は、原則として当該教員の裁量に委ねられる。

6. 勤務・待遇等

-
- ◆ 勤務地 早稲田キャンパス

 - ◆ 給与 本学規程による。

 - ◆ 諸手当・通勤費 本学規程による。

 - ◆ 退職金 本学規程による。

- ◆ 休日、休暇 (1) 休日には、土曜日および日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日に授業を実施することにより別途設定される臨時の授業非実施日、ならびに創立記念日を含む。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると指定した日を除く。

(2) 休暇には、労働基準法等の関係法令に基づき定められた休暇のほか、大学が別途定める休暇を含む。

- ◆ 社会保険 教員は、厚生年金保険、健康保険、労災保険および雇用保険に加入する。

7. 採用時期 2027 年 4 月 1 日、または 2027 年 9 月 1 日

応募は、応募締切日までに、下記 (1) および (2) の双方が完了した場合にのみ受理する。

8. 応募方法

(2) に含まれる提出書類のうち、3 および 4 については、下記 URL より指定様式をダウンロードの上、所定の様式に従って作成すること。その他の提出書類については、様式は任意とする。

提出書類 1～5 は英語で作成すること。7 については、英語または日本語のいずれで作成してもよい。

指定様式のダウンロード先：

<https://waseda.app.box.com/folder/193054471255?s=h594r1nxexlhowclw9z0xtotwlgqu4vn>

Web エントリー

2026 年 6 月 1 日（日本時間 23 時 59 分）までに、下記 URL より Web エントリーを完了すること。

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=EjM_g9Mdv7InBaTfdUg8cg

応募書類	チェックリスト	以下の提出書類が揃っていることを確認し、一覧表を添付すること https://waseda.box.com/s/ivnjfmzm5n1x4ezn4rjasmoqj3u02g9
1. 志望理由書		カバーレター：国際教養学部の教員職に応募する理由、および本学部の教員としての適性について説明すること
2. 履歴書		指定書式をダウンロードし、全項目を記載のこと。 https://waseda.box.com/s/l6f1hv6tpby9vq05q9izj7bms4gozl1t 注 1：現在、テニユア付き職か否か（任期付など）を明記すること 注 2：日本国内において職位を有している場合には、その日本語の職位名も併せて記載すること
3. 教育・研究業績		以下の a～c を提出すること a. 教育研究業績書 I～IV ・下記 URL より指定様式をダウンロードし、すべての項目を英語で記入すること https://waseda.box.com/s/cl7lkz6r04p11ylfwqfmr8j1l6789no b. 研究業績 ・自身の研究を代表する論文または著書（複写可）を 5 点以内で提出すること ・提出する各論文・著書について、約 250 語の英文要約を付すこと ・掲載予定の論文・著書については、出版社または学術誌編集者に

よる採録を証明する書簡を併せて提出すること

・英語以外の言語で執筆された論文・著書については、原題に加えて英語訳のタイトルを記載し、各点について英文による簡潔な要約を付すこと

c. 教育経験および教育内容

・教育経験に関して提出可能な資料（担当科目名および科目概要、シラバス、授業配布資料等）があれば、任意で提出すること

-
4. 教育・研究計画
- (1) First Year Seminar, Intermediate Seminar, Advanced Seminar、初級レベルの講義科目、中級レベルの講義科目、ならびに上級レベルの講義科目について、各科目の内容概要を提出すること
- (2) 応募者が担当を予定する初級レベルの講義科目については、詳細な科目説明およびシラバスを提出すること
- (3) 以下の事項について、それぞれ別個の文書として提出すること
- (i) 教育理念および教育ビジョン
- (ii) 研究関心および今後の研究計画
-

5. 最終学歴学位記コピー

6. 推薦状 2 通
- ・推薦状 2 通を提出すること（英語が望ましいが、日本語でも可）。推薦状は、所属機関のレターヘッド入りで署名済みのものをスキャンし、推薦者本人が「12. 問い合わせ先」に記載された電子メールアドレス宛に直接送付すること。

・推薦者には、電子メールの件名を“Artificial Intelligence（応募者氏名）Recommendation Letter”とするよう、事前に依頼すること。

7. その他
- 上記 7 の推薦者の他に、追加の推薦者 2 名について、氏名、所属機関、職位、連絡先（電話番号および電子メールアドレス）を記載した簡潔な書類（様式自由）を提出すること。選考の過程でこれらの方に直接連絡をとる場合がある。
-

注：原則として、提出された書類は返却しない。また、応募書類の受領状況に関する問い合わせには応じない。

9. 応募書類提出先
- 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学国際教養学部 総務係 教員人事担当
封筒には「人工知能応募書類在中」と朱記のこと
応募書類は、簡易書留、宅配便等の追跡可能な方法により送付すること
直接持参または電子メールによる提出は受け付けない。
-

10. 応募期限
- Web エントリー期間：2026 年 3 月 6 日（金）～ 2026 年 6 月 1 日（月）23:59（JST）
応募書類提出期間：2026 年 3 月 6 日（金）～ 2026 年 6 月 5 日（金）17:00 必着
締切後の提出は、理由にかかわらず認めない。
-

11. 選考
- 第 1 次選考：書類審査
選考結果は 2026 年 6 月下旬に CV に記載されたメールアドレス宛に通知
- 第 2 次選考：面接選考（模擬講義および研究発表）
- 面接は、2026 年 7 月 25 日（土）に、早稲田大学（東京）において対面形式で実施予定。詳細については、第一次選考通過者に対して別途通知する。なお、面接に係る旅費等は応募者の自己負担とする。（状況によってオンラインによる選考に変更されることもある）
最終選考結果は、2026 年 12 月下旬（予定）に応募者へ通知する

12. 問い合わせ先 早稲田大学国際教養学部 人工知能 採用係
Email: sils-ap@list.waseda.jp
受付時間 月曜日～金曜日 9時00分～17時00分
※土曜日・日曜日、国民の祝日および大学が定める特別休業日を除く

13. ホームページ 国際教養学部に関する一般的な情報については、以下のウェブサイトを参照すること
<https://www.waseda.jp/fire/sils/en/>

（個人情報の取扱い）

提出された個人情報は採用選考の目的のみに利用する。なお、採用が決定された方の個人情報については、引き続き採用後の雇用管理のために利用する。その他の応募者の個人情報は、採用試験終了後、本学の規則に則り適切に廃棄する。

早稲田大学は、国際化、男女共同参画などダイバーシティの向上に取り組んでいる。教員採用・昇進の人事審査において、国籍、性別、政治的信条、または障がいの有無を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせている。

以上